

令和6年度の実施状況

- ・新聞や広報誌、SNSを活用した、禁煙支援・COPDの疾患の周知啓発の実施
- ・COPDの疾患説明・保健指導用のリーフレットの作成
- ・がんの啓発活動と共にCOPDの啓発活動の実施
- ・問診による健康チェック（COPD-Q）の実施
ハイリスク者へ上記COPDリーフレットを用いた保健指導の実施

今後の取組についての課題の整理

- ・奈良県のCOPD認知度が約50%と低い（R5なら健康長寿基礎調査）
- ・加齢とともにリスクが高くなっていくため、年齢の若い内に禁煙支援を行う必要がある。また早期発見し、早期治療に繋げていく事が重要である。
- ・普及啓発・保健指導の場では関心がある人が一定いる。検診実施主体である市町村や事業所の協力が必要。
- ・関心がある人、ハイリスク者がいても医療機関にスムーズにつなぐことが難しい為、誘導方法について検討が必要。

令和7年度 取組計画（案）

市町村や事業所等の関係機関との協力による普及啓発

- ・健康づくりフェスタ、世界禁煙デー、「がん検診を受けよう！」奈良県民会議等、イベントでの啓発活動の実施
- 県民会議会員や市町村・保健所と連携した普及啓発を行う
- ・**COPD保健指導用リーフレットの作成**
- 市町村等へ情報提供、保健指導のための支援

早期発見・早期治療につながるルートの確保

- ・**COPDを検査・治療できる医療機関の一覧の作成**
関心がある人やハイリスク者がスムーズに治療に繋がる支援を行う
- 作成方法について検討が必要。
 - ・対象となる医療機関の抽出方法
 - ・掲載する医療機関へアンケートの実施
- 参考事例：奈良市では奈良市内のCOPD早期発見・治療可能医療機関リストを作成している。

検討事項

(1)市町村等でのCOPD保健指導用リーフレットの活用について

○COPD保健指導用リーフレットの作成

- ・健康づくりフェスタで活用したCOPDリーフレット【資料4-3】を基に、わかりやすい表現に変えたリーフレット【資料4-4】を作成。

○活用方法について

- ・作成したCOPD保健指導用リーフレットを、各市町村等の保健指導の場でも活用できるように情報提供を行う。

(2)COPD治療・検査可能医療機関一覧の作成について

○COPD治療・検査可能医療機関一覧作成方法について下記の様に検討している。

【案1】

- ・県内の医療機関（呼吸器科・呼吸器内科）に対し、①～③の項目を設問し、リストを作成する。
 - ①「スパイロメーターによる呼吸機能検査が可能か」
 - ②「COPD治療・検査の対応が行えるか」
 - ③「リスト掲載を希望されるか」（その他に登録要件を要する場合には質問を追加する）

【案2】

- ・県内の医療機関（呼吸器科・呼吸器内科）に対し、リスト掲載希望について設問。「掲載希望医療機関」リストを作成する。（掲載希望を確認する際、条件として「スパイロメーターによる呼吸機能検査が可能で、COPDの管理や治療に積極的に取り組める医療機関」である旨を記載する。）

○参考情報

- ・奈良市ではCOPDに関する事業を奈良市医師会に委託し、奈良市医師会でCOPD早期発見・治療可能医療機関リストを作成している。
- ・奈良市医師会より、奈良市内にある医療機関に対し「スパイロメーターによる呼吸機能検査が可能で、COPDの管理や治療に積極的に取り組んでいただける医療機関」をリスト掲載の条件とし、希望される医療機関を募っている。